



まちさぽ ~冬号~



平成27年2月26日 No.34

編集・発行 東久留米まちづくりサポートセンター
桑原 042-476-1515



— 冬号のラインナップ —

- まちさぽ学習会の報告（1面・2面）
- くるめボランティア・市民活動フェスタに参加しました（3面）
- お知らせ（4面）

まちさぽ学習会報告

まちづくりサポートセンター（通称まちさぽ）は、昨年に引き続き市と共催で1月24日と1月31日の2日間スペース105にて「まちづくり学習会」を開催しました。

今年のテーマは住みやすいまちづくり「災害時のために常時から地域住民同士の助け合いを考える」です。近年地震や気候変動による異常気象が増え、災害が非日常のことではなくなってきています。いざ災害が起きたときに 私たちは地域で助けたり助けられたりできるでしょうか？

まちさぽは「地域でのまちづくりは地域の住民が主体となって安全で安心な住みやすいまちをつくること」を理念に活動しています。

学習会（1日目）

市内で長年活動されている「防災まちづくりの会・東久留米」の代表の郷野正臣氏から、防災のためのまちづくりの必要性についてお話をうかがうことから始めました。

日本で起きた地震で一番古いものは？

- ・さかのぼること1600年前の西暦416年「允恭（いんぎょう）地震」が「日本書紀」に記されている。
- ・599年には「推古地震」が起き家屋倒壊と被害状況も記録されている。

近年では

- ・1923年（大正12年）関東大震災
- ・1995年（20年前）の阪神淡路大震災
- ・2011年（4年前）の東日本大震災



日本は地震災害を常に念頭においておかなければならない。

私たちは平常時からどのような事を行うか？



- ・自分の身は自分で守る。
- ・非常持ち出し袋の用意。
- ・減災対策（家具転倒、ガラス飛散防止等）
- ・自分の住んでいる地域を知る。
- ・顔見知りになる。
- ・日常の声掛けや挨拶をする。
- ・地域活動に参加し地域とのつながり、見守り
支え合いができるようにする。

地域としての役割は何か？

- ・自主防災組織をつくる。
- ・住民の情報の共有化（個人情報の許容範囲）
- ・リーダーの育成。

学習会（2日目）

昨年に引き続き「東京ボランティア・市民活動センター」の朝比奈ゆりさんから今回の学習会のテーマを解決するための方法「プロセスデザイン」をご提案頂きました。

- ・ グループに分かれグループごとに目標を定める
目標「災害時に地域で安全で安心なシステムの構築」
- ・ 目標を達成するために住民参加のプロジェクトを企画する。
- ・ 活動プロセスをスケジュールする
（例えば必要なことは何か、誰が行うか、どんな人に関わって欲しいか等）
（また目標達成までの期間はどれくらいにするか、予算はいくら必要か等）

「プロセスデザイン」という手法にそってワークショップで考えてみました。



学習会を通して、自分の地域を再度見直し災害時にパニックに陥らないよう平常時から地域の中で顔見知りの関係を作れるような取り組みをしようと強く思いました。

2日間にわたり参加して頂いた市民の皆様、他市からもご参加頂きありがとうございました。

まちさぼ運営委員 若原 小都美

くるめボランティア・市民活動フェスタに参加しました!

「2015くるめボランティア・市民活動フェスタ」に参加しました

(2月14日市役所1階市民ひろばにて)

このフェスタは東久留米市と東久留米市社会福祉協議会の主催によるもので、今年度は「見つけよう! したいこと できること」というテーマが掲げられました。参加団体による展示のほか、体験コーナーやステージでのイベント、食品・小物の販売もあり、多くの来場者で賑わいました。

まちさぽブースでは、来場された方々から「あなたのできること、したいこと」を伺ったり、ビッグマップを前にまちへの想いを語っていただきました。



また、まちさぽサロンの活動として「エコマップ」と「帰ってきたぶらりまちあるき」を紹介しました。

ステージでは「まちさぽ」の団体紹介をさせていただきました。

問いかけに答えてくださった方々の「これからやってみたいこと」は、地域の防犯、見守り、公園の手入れ（花、掃除）、自転車道づくりの働きかけなどで、市民のみなさんのまちづくりへの意欲や、まちを愛する気持ちが伝わってきました。

まちさぽ通信編集委員 得平



お知らせ

まちさぼサロンは毎月1回実施している「市民交流の場」です

まちさぼサロンは毎月第3土曜日
13時～15時 男女平等推進センターにて
実施している市民が自由に交流できる場
です。今年度は3月14日(変則)で最後です。
(※4月以降のサロン開催日程及び開催場所は、
各公共施設に置いてあるチラシや情報サイト「くる
くるチャンネル」でご確認ください)



まちさぼサロンは「**だれでも**」

「**いつでも**」自由に参加

することができ、東久留米のまちづくりを軸に
様々なテーマで話し合いをしています。

事前の参加申し込みなどは不要で、お子様連れでももちろんOK!

お茶を飲みながら東久留米のまちづくりについて語りましょう!是非お気軽にご参加ください。

まちさぼサロンでは、現在以下のようなプロジェクトを応援しています。

・ 環境エコライフMAP(仮称)

市内の環境保護活動やリサイクルの情報マップづくりをしています。
サロン開催日に作業をしています。

・ 帰ってきたぶらりまちあるき

昔から地域に残る地名、道など、東久留米市の昔の様子を資料を
もとに調べ歩きます。次回は2月28日(午前10時東久留米駅
改札前集合)の予定です。旧小山村を歩きます。



まちさぼサロンでは①プロジェクト企画へのアドバイス、②市内の関連グループの紹介など
を通してプロジェクトの立ち上げを支援しています。市内でプロジェクトを立ち上げてみたい方は是非ご相
談ください。



東久留米まちづくりサポートセンターの活動内容等は、
東久留米市コミュニティサイト「くるくるチャンネル」
<http://kuru-chan.com>に掲載しています。是非ごらんください。

